

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

- (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
貯蔵品・・・最終仕入原価法による原価法を採用している。
- (2) 固定資産の減価償却の方法
有形固定資産・・・定率法を採用している。
- (3) 引当金の計上基準
退職給付引当金・・・職員の退職給付に備えるため、期末退職給付の要支給額に相当する金額を計上している。
- (4) 消費税等の会計処理
税込方式によっている。

2 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
退職給付引当資産	10,268,000	1,926,000	-	12,194,000
特別寄付金引当資産	4,245,935	778,853	21,959	5,002,829
小 計	14,513,935	2,704,853	21,959	17,196,829

3 特定資産の財源の内訳

特定資産の財源の内訳は、次のとおりである。(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対する対応額)
特定資産				
退職給付引当資産	12,194,000	-	-	(12,194,000)
特別寄付金引当資産	5,002,829	(5,002,829)	-	-
小 計	17,196,829	(5,002,829)	(0)	(12,194,000)

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
楽器等	418,117	418,109	8
建物	21,598,488	15,890,797	5,707,691
什器備品	6,989,569	6,830,678	158,891
合 計	29,006,174	23,139,584	5,866,590

5 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
文化芸術振興費補助金	文化庁	-	605,797,000	605,797,000	-	-
文化芸術振興費補助金	文化庁	-	2,138,000	2,138,000	-	-
雇用調整助成金	厚生労働省	-	126,000	126,000	-	-
ひょうごのふるさと芸術文化活動促進事業助成金	兵庫県	-	200,000	200,000	-	未収金
兵庫県芸術文化協会助成金	兵庫県	-	1,520,000	1,520,000	-	未収金
芸術文化振興基金助成金	独立行政法人日本芸術文化振興会	-	296,000	296,000	-	-
文化芸術振興費補助金	独立行政法人日本芸術文化振興会	-	1,067,000	1,067,000	-	-
都民芸術フェスティバル	公益財団法人東京都歴史文化財団	-	3,771,000	3,771,000	-	-
次代の文化を創造する新進芸術家育成事業	文化庁	-	1,100,000	1,100,000	-	未収金
文化芸術振興費補助金	独立行政法人日本芸術文化振興会	-	888,000	888,000	-	未収金
芸術文化振興基金助成金	独立行政法人日本芸術文化振興会	-	498,000	498,000	-	未収金
合 計		-	617,401,000	617,401,000	-	

6 引当金の明細

(単位:円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		当期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	10,268,000	1,926,000	0	0	12,194,000

7 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内容	金額
経常収益への振替額	
目的達成による指定解除額	21,959
合 計	21,959